

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくれます	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者に意見を聞く他、公共施設予約システム導入への検討を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者に意見を聞き、より良い施設の管理運営を行っていく。
②①に基づく取組み結果	指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者から意見を聞き、必要に応じて改善を講じた。公共施設予約システムについては、検討を行った結果利用者からの要望が少なかったため導入を見送ることとした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図(対象をどうするのか)	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成の場となるよう適正な管理運営を行う。
②事務事業の概要	コミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民交流を深め、人間性豊かな地域社会づくりを進める上で、市民にとって身近な地域活動の拠点となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者から意見を聞き、必要に応じて改善を講じた。公共施設予約システムについては、検討を行った結果利用者からの要望が少なかったため導入を見送ることとした。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	1施設当たりの利用者数	17,387	16,605	15,553	人 業務取得
	ii	1施設当たりの管理運営費	7,209	7,238	6,670	千円 業務取得
	iii	一人当たりの管理運営費	415	436	429	円 業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	45,004	40,311	金額(千円)	内容	43,661	
	国支出金(千円)	0	0	15,030	指定管理料	0
	県支出金(千円)	0	0			0
	市債その他(千円)	0	0			0
	一般財源(千円)	45,004	40,311			43,661

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	指定管理者制度が導入されている3館については、モニタリング等で指定管理者者に対して適正な管理を行い、継続的に市民サービスの向上を図っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コミュニティセンターは地域住民の活動及び交流の拠点となっており、高齢化が進むなか、地域住民にとっての価値が高まっているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ケ谷及び南初富コミュニティセンター多目的ルームの空調機改修工事を行う他、栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	前年度から実施している栗野コミュニティセンター空調機改修工事を行う他、鎌ケ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託を行う。
②①に基づく取組み結果	鎌ケ谷及び南初富コミュニティセンター多目的ルームの空調機改修工事を行った他、栗野コミュニティセンター空調機改修工事を前倒して実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティセンター	意図(対象をどうするのか)	計画的に改修を行うことにより、施設の長寿命化を図る。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化計画に基づき、経年劣化した施設の外壁、屋上防水、空調設備の改修を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各施設とも建築年数が経過し、老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	鎌ケ谷及び南初富コミュニティセンター多目的ルームの空調機改修工事を行った他、栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託及び工事の契約発注を行った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 利用者数	104,319	99,627	93,316	人 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算	(事業費)の主な内訳	令和2年度予算
事業費(千円)	10,400	17,858	金額(千円)	内容	31,690
国支出金(千円)	0		1,728	栗野空調設計委託	
県支出金(千円)	0		1,134	鎌ケ谷空調工事	
市債その他(千円)	7,800	11,400	1,296	南初富空調工事	20,900
一般財源(千円)	2,600	6,458	13,700	栗野空調工事(前金分)	10,790

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	各施設の老朽化が進む中、不具合や故障が発生する前に予防的な改修を行うことにより、経費の抑制を図ることが課題となっている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	公共施設の長寿命化計画に基づき、今後も計画的な改修が必要となるため。令和3年度は、鎌ケ谷コミュニティセンター外壁等改修工事を計画している。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	鎌ケ谷・南初富コミセン多目的ルーム空調機改修工事 栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	46,390	46,390	予算額	決算額		
②計画に対する事業実績	鎌ケ谷・南初富コミセン多目的ルーム空調機改修工事 栗野コミュニティセンター空調機改修工事設計委託	46,390	46,390	当初	4,820	17,858	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		現年分	17,858
③達成状況	完了			補正	41,570			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				令和2年度への繰越額(単位:千円)			27,870	

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	粟野自治会集会所及び中沢自治会集会所の修繕の他、道野辺あおば自治会集会所借家事業への補助を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体・新築事業の他、道野辺あおば自治会集会所借家事業及び富岡自治会集会所借家事業への補助を行う。
②①に基づく取り組み結果	事業実施を希望する自治会へ助言を行うことで、自治会館の持続的な運営に寄与した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の新築等を予定している自治会	意図(対象をどうするのか)	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自助意識の醸成をはかる。
②事務事業の概要	地域のコミュニティ活動及び福祉、環境、防災の拠点となる自治会集会所への新築等に際し補助金を助成するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	集会所を持たない自治会へは借家事業を実施することで、自治会館を活用できるよう補助した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠	
	i	建築基準法改正(昭和56年)以降に建築された集会所を有する自治会館	21	23	23	自治会業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	0	2,170	金額(千円)	内容	25,160	
	国支出金(千円)		990	粟野自治会集会所修繕		
	県支出金(千円)		1,000	中沢自治会集会所修繕		
	市債その他(千円)		180	道野辺あおば自治会集会所借家		
	一般財源(千円)	0	2,170		25,160	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会との連絡調整を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	自治会を所有していない自治会や、集会所の老朽化が著しい自治会が複数あるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	粟野自治会集会所修繕、中沢自治会集会所修繕、道野辺あおば自治会集会所借家	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	粟野自治会集会所修繕、中沢自治会集会所修繕、道野辺あおば自治会集会所借家	2,180	2,180	当初	2,180	H30からの繰越	0
				H30⇒R1繰越	0		
				補正	0		
③達成状況	完了			2,170	現年分	2,170	
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)		0			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	庁内において、表現ガイドの認知度及び活用頻度が低いため、更なる周知を行い活用頻度の向上を図る。また次期推進計画策定に伴い、男女共同参画アンケートを実施する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	令和3年度からを計画期間とする次期「鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画」の策定を行う。
②①に基づく取り組み結果	表現ガイドの活用を周知するとともに、広報かまがやの担当部署に対し、男女共同参画の視点に配慮した広報を行うよう依頼し、改善を図った。また、次期推進計画策定にあたり、市民・事業所・市職員・市教員に男女共同参画アンケートを実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	職場や家庭、地域等様々な場での女性参画の推進を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画推進計画に基づく各施策を実施する。また、令和3年度からを計画期間とする次期計画の策定を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	全国的に人口減少している中で、家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会形成のため、全庁的に取り組む事業と考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	男女共同参画推進計画の各事業について、関係各課と共同で取り組んだ。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	審議会等女性委員の割合	28.3	26.5	29.6	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算
事業費(千円)	2,606	4,902	金額(千円)	内容		689
国支出金(千円)			170	男女共同参画計画策定委員会委員報償		
県支出金(千円)			41	男女共同参画推進懇話会委員報償		
市債その他(千円)			2,178	男女共同参画アンケート調査委託		
一般財源(千円)	2,606	4,902				689

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子高齢化・人口減少等社会情勢が大きく変化している中、男女があらゆる分野で性別にとらわれず、対等な立場で参画できる社会形成が重要となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	男女共同参画推進計画の各施策について、男女共同参画推進懇話会からの意見を踏まえ課題等を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	情報誌の発行回数見直しや内容等について、令和2年度から改定できるよう、そのための検討・準備等を進める。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	庁内における男女共同参画意識を推進するため、市管理職を対象とした男女共同参画研修を実施する。
②①に基づく取り組み結果	情報誌の発行回数の見直しを行い、年4回から2回に変更した。周知強化のため、これまでの市内公共施設への配架から、自治会班回覧に拡大した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画推進を図るための講座や啓発事業を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民ニーズが多様化していることから、事業の企画立案にあたってはニーズに対応し、ターゲットを絞った事業の実施が必要である。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施し、男女共同参画意識の醸成を図った。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 男女共同参画週間	237	130	307人	業務取得
	ii 情報誌の発行	4	4	2回	業務取得
iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	7,644	6,323	金額(千円)	内容	6,540
国支出金(千円)			1,131	プロジェクトマネージャー報酬	
県支出金(千円)			832	女性のための相談業務委託	
市債その他(千円)			540	一時保育業務委託	
一般財源(千円)	7,644	6,323			6,540

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画推進センターのさらなる利用促進を図る必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	男女共同参画を推進するため、講座や啓発事業の充実を図るとともに、市民活動・男女きりりフェスタを市民公益活動団体を中心とした実行委員会の主催とすることで、男女共同参画に興味のある人材の活躍の場とした。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初	0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	協働の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民公益活動事業のさらなる推進のため、「市民活動応援補助金」の活用促進を図る。また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向け、準備を進める。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	市民公益活動事業のさらなる推進のため、「市民活動応援補助金」の活用促進を図る。
②①に基づく取組み結果	「市民活動応援補助金」に、新たに2件の事業を採択した。また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向け、市民公益活動団体を対象にした計画策定ワークショップを実施した。		また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向けたプロポーザルを実施し、令和3年度からの計画に向けて事業者と協力して計画の策定を行う。

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・自治会、市民公益活動団体、企業、市など多様な主体	意図(対象をどうするのか)	地域社会に共通する課題の解決や目標の実現に向けて協働の推進を図る。
②事務事業の概要	協働の推進を図るため、「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン(改訂版)」に基づき、各施策を展開する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化などにより、地域社会を取り巻く環境は著しく変化するとともに地域課題も多様化しており、その解決において行政と市民との協働の重要性はますます高くなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市民活動応援補助金について、平成30年度からの継続事業5件に加え、新たに2事業を採択したことで、合計7事業の補助を決定した。また、次期「市民との協働戦略プラン」の策定に向けて、市民公益活動団体を対象にワークショップを行い、意見を聴取した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	市民活動応援補助金実績報告件数	2	6	7	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	2,004	2,124	金額(千円)		内容	10,051	
	国支出金(千円)		1,551		市民活動応援補助金		
	県支出金(千円)		438		市民活動総合保険		
	市債その他(千円)		88		協働推進委員会会員報償		
	一般財源(千円)	2,004	2,124			10,051	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民と市の協働により地域の課題を解決するため、さらなる市民団体との役割分担による事業の実施や、市民団体の活動支援を行う必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	少子高齢化や地方分権の進展などに伴い多様化する地域課題の解決のため、協働の重要性が高まっている。新しい生活様式に対応した活動を支援するため、オンライン講座の実施や補助金制度の見直し等を行い、協働促進を図る必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民活動推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づくりコーディネーター」の実践活動の支援を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づくりコーディネーター」の実践活動の支援を行う。
②①に基づく取り組み結果	「地域づくりコーディネーター」に対し、協働に関する庁内研修への参加を促し、職員の協働に関する理解を深めるべく協力していただいたほか、次期計画策定のワークショップへの参加を促し、参加者間の意見交換の場において調整役等を担っていただいた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民公益活動団体及び市民	意図(対象をどうするのか)	市民公益活動を行う市民を支援するとともに、市民のまちづくり意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	市民活動推進センターを拠点とし、講座やイベントの実施、情報発信等を通じて市民活動の推進を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった社会的変化などにより、地域社会を取り巻く環境は著しく変化するとともに地域課題も多様化し、その解決において行政と市民との協働の重要性はますます高くなっていることから、協働の担い手となる市民公益活動団体の強化や、市民活動を活発化させるための仕組みづくりが必要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市民活動・男女きらりフェスタなどを通して市民活動推進センターの周知を行うとともに、プロジェクトマネージャーを市民公益活動団体へ積極的に紹介した。また、地域づくりコーディネーターを認定し、市民公益活動団体へ紹介した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	市民活動推進センター来所者数	5,977	6,256	5,251	人	業務取得
	ii	市民公益活動相談件数	126	155	149	件	業務取得
	iii	市民活動推進センターウェブページアクセス数	9,536	10,754	6,678	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	3,646	4,052	金額(千円)			5,026	
	国支出金(千円)			1,355	プロジェクトマネージャー報酬		
	県支出金(千円)			1,348	講座委託料		
	市債その他(千円)			664	機器使用料		
	一般財源(千円)	3,646	4,052	518	市民活動・男女きらりフェスタ負担金		5,026

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民活動推進センターのさらなる利用促進を図る必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民活動を推進するための講座等の充実を図るとともに、市民活動・男女きらりフェスタを市民公益活動団体を中心とした実行委員会の主催とすることで、市民活動に興味のある人材の活躍の場とした。今後は、オンラインを活用した講座やイベント等の実施や情報発信が可能となるよう環境整備を行う。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30⇒R1繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和2年度への繰越額(単位:千円)					

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	各種相談に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	12	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	後藤 由美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。
②①に基づく取組み結果	登記・不動産相談の需要が拡大していることを踏まえ、相談員(司法書士会、土地家屋調査士会、宅地建物取引業協会)と調整し、令和2年度より相談枠を2枠拡大することとした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	各種相談を通じて、安心した市民生活や市民福祉の向上を図る。
②事務事業の概要	市民が社会生活を営む中で発生する、人間関係や金銭トラブルなどの様々な諸問題の解決のため、各種相談を実施するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化社会、高度情報化社会などの急速な生活環境の変化によって、相談内容も多岐多様となってきている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	各種相談の年間受付件数は439件であり、昨年度と比較して9件減少した。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 相談件数	411	448	439	件	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	1,688	1,716	金額(千円)	内容	1,722	
国支出金(千円)			1,700	弁護士報償		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	1,688	1,716			1,722	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民生活にかかる各種トラブルを解決していくために、今後も引き続き市民相談を提供する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	各種相談に対する市民ニーズが高いため、より効率的な体制を整える必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	人権施策に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	11	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	ヒューマンフェスタなどの人権啓発活動を通じて、多様な人々への理解を深めお互いを尊重しあえるよう人権意識の高揚を図る。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	法務省における令和2年度の啓発活動重点目標を踏まえ、ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別解消のため、ハンセン病についての正しい知識、関心と理解を深める啓発に取り組む。
②①に基づく取り組み結果	昨今、全国的に喫緊の課題である児童虐待を題材とした映画上映会を開催した。多くの市民(417人)に参加いただき人権尊重に対する意識を高めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	人権相談や啓発活動を通じて人権尊重を図る。
②事務事業の概要	基本的人権を擁護するため、人権擁護委員と連携し、相談業務及び啓発活動を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年、急速なネット環境の普及から情報の取得や拡散が便利になった反面、SNS等を介したトラブルからいじめや事件に発展するケースも増えてきた。人権擁護に関する啓発内容等も時代に即した内容を提供、発信する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	小学校では「人権教室」を、中学校では「人権講演会」を実施した他、人権相談や啓発活動「ヒューマンフェスタ」を行うことにより人権尊重意識の高揚を図った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i	ヒューマンフェスタ	137	422	417人	業務取得
	ii	人権講演会	716	482	491人	業務取得
	iii	人権教室	1167	1294	1,242人	業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	766	734	金額(千円)	内容	826	
国支出金(千円)			190	啓発活動に伴う需用費		
県支出金(千円)	331	236	296	市川人権擁護委員協議会負担金	350	
市債その他(千円)			50	千葉県人権センター負担金		
一般財源(千円)	435	498			476	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ネット上における人権侵害などトラブルの背景も変化しており、人権擁護に関する啓発内容なども時代に即したものを提供、発信する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	相談の利用状況、事業のアンケート結果を踏まえ、課題を精査し、次年度以降の事業に活かしていく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H30⇒R1繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)			